

平成 19 年 11 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社 安楽亭
代表者名 代表取締役社長 柳 時 機
(コード番号 7562 東証第二部)
問 合 せ 先 取締役総務人事部長 安部 一夫
(TEL 048-859-0555)

中間業績予想の修正及び特別損益に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 8 月 13 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期(自平成 19 年 4 月 1 日至平成 20 年 3 月 31 日)の中間業績予想の修正及び特別損益の計上についてお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間業績予想数値の修正(自平成 19 年 4 月 1 日～至平成 19 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (平成 19 年 8 月 13 日発表)	12,250	210	15	165
今 回 修 正 予 想	12,350	217	10	262
増 減 額	100	7	5	427
増 減 率 (%)	0.8	3.3	33.3	
前 年 中 間 実 績 (平成 19 年 3 月期中間)	13,743	485	94	101

(個別)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (平成 19 年 8 月 13 日発表)	10,800	200	60	160
今 回 修 正 予 想	10,879	185	41	294
増 減 額	79	15	19	454
増 減 率 (%)	0.7	7.5	31.7	
前 年 中 間 実 績 (平成 19 年 3 月期中間)	12,157	444	117	121

2. 当中間期 業績予想数値の修正理由

売上高につきましては、ほぼ前回予想並みとなる見込みです。

営業利益及び経常利益につきましては、米国産牛肉の輸入量もまだ少ないことなどから原価率が計画通りに低下しておらず、前回予想を下回る見込みです。

中間純利益につきましては、「総資産・借入金債務の圧縮」施策の一環として、固定資産譲渡により財務体質の強化を図っておりますが、上期に特別利益を想定していた固定資産譲渡が、サブプライムローン問題等の影響もあり下期にずれこんでいる状況となりました。一方、収益構造の改革・改善のため、不振店舗

に対する抜本的措置を施すことが将来の収益向上につながることから 12店舗を閉鎖し、賃貸借契約等解約損 1 億 68 百万円、固定資産除却損 1 億 25 百万円を当中間期に特別損失として計上したことにより、前回予想を下回る見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、上期からずれ込む特別利益の発生可能性があることから、8月13日に公表した業績予想の修正はありません。

3. 特別損益の計上について

下記のとおり、特別利益が発生します。

(1) 個別特別利益

1. 固定資産売却益	1 億 84 百万円
2. 投資有価証券売却益	20 百万円
(特別利益計)	2 億 4 百万円

(2) 連結特別利益

1. 固定資産売却益	1 億 84 百万円
2. 投資有価証券売却益	59 百万円
(特別利益計)	2 億 44 百万円

下記のとおり、特別損失が発生します。

(1) 個別特別損失

1. 賃貸借契約等解約損	1 億 68 百万円
2. 固定資産除却損	1 億 25 百万円
3. 減損損失	1 億 94 百万円
4. 貸倒引当金繰入損	30 百万円
5. その他	29 百万円
(特別損失計)	5 億 49 百万円

(2) 連結特別損失

1. 賃貸借契約等解約損	1 億 68 百万円
2. 固定資産除却損	1 億 25 百万円
3. 減損損失	1 億 94 百万円
4. その他	29 百万円
(特別損失計)	5 億 18 百万円

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性がございます。

以上